

# 平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	2.子育て・子育て支援と教育学習環境の充実				
分野別方針	(6)教育内容の向上		実施計画事業	1) 特色ある学校教育推進事業(No.18)				
予算等事業名	支援教育推進事業							
目的	学習活動及び学校生活上で支援を必要とする児童・生徒に対する学習支援ならびに生活支援を行い、教育活動の充実を図る。							
内容	小学校に支援教育補助員、小・中学校に日本語指導員を派遣する。							
根拠法令・条例等	二宮町支援教育補助員の派遣及び配置に関する要項 外国籍児童・生徒への日本語指導推進事業実施要項							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由								

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由								

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)						
	【説明】						

## 総合評価

実績	小学校3校に、延べ18名の支援教育補助員を配置。 小・中学校に延べ3名の日本語指導員を派遣。						
中間評価との相違点							
事業指標(数値指標)	小学校への支援教育補助員を配置人数						
前期(27年度)目標値	18名(3校の延べ人数)			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度と同水準で継続する			
	18名						

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		15,896	15,064				
財源内訳	一般財源	15,896	15,064				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 町立学校の教育活動にかかる事業のため、公費の投入が必要。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 町立学校の設置者として、事業の執行管理を行う必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 特別な配慮を必要とする児童の支援を行うことができた。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 各学校が児童の実態をふまえて、支援員の配置クラスを適宜変更している。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 支援教育補助員のきめ細かな支援によって、生活、学習の両面で児童の学校生活に対する不安を軽減することができた。また、日本語の不自由な児童生徒に指導者を派遣し、学習活動の支援を行った。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	◎支援教育補助員を対象として、より効果的な支援方法についての研修会開催を検討したい。 ◎国際化のより一層の進展を視野に入れ、日本語指導者の人材発掘を進める必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	支援が必要な児童・生徒が、保護者や本人の意向を踏まえ、地域で教育を受けることが重要視されている中、支援教育補助員の役割はさらに大きくなっている。		
今後の方向性	拡充して、継続。		